



# Softube

ユーザーマニュアル  
Tube-Tech PE 1C

## Softube ユーザーマニュアル

© 2007-2013. Amp Room は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Softube は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Valley People Dyna-mite、Trident A-Range、Tonelux、Tilt への視覚と聴覚へのリファレンスは、PMI Audio から書面による許諾を得て使用されている登録商標です。Tonelux、Tilt logo、Valley People、Dyna-mite に関連するロゴ、Trident、A-Range、Triangle のゴロはライセンスに基いて使用されている PMI Audio Group の商標です。Tube-Tech は、Lydkraft ApS, Denmark の登録商標です。すべての仕様は予告なく変更することがあります。無断複写、転載を禁じます。

その他の会社名、および本書に記載されている商品名は、各社の商標、及び登録商標です。他社製品に関する記載は、情報提供のみを目的としており、保証、推奨するものではありません。Softube は、これら製品のパフォーマンス、または使用に関して一切の責任を負いません。

Softube 製品は、特許 SE526523、SE525332、関連する特許/特許 WO06054943、US11/667360、US20040258250、EP1492081、EP1815459、JP2004183976 によって保護されています。

ユーザーへのソフトウェアへの権利は付属のソフトウェア使用許諾契約書(EULA)に準拠します。

## 免責事項

あらゆる努力は、このマニュアルに記載されている情報が正確であることを確認するために行われました。しかし、我々はミスを行っている可能性があり、我々も人間であるということをご理解いただけますと幸いです。ミスを発見した場合、我々にお知らせください。マニュアルの後のバージョンで修正します。

## サポート

Softube のウェブサイト上 ([www.softube.com](http://www.softube.com))では、よくある質問(FAQ)や、様々な他のトピックへの答えを見るけることができます。

サポート的な質問は、<http://www.softube.com> にポストしてください。

我々は出来るだけ速やかにお答えします。Web: [www.softube.com](http://www.softube.com)

E-mail: [info@softube.com](mailto:info@softube.com)

Phone: +46 13 21 1623 (9 am - 5 pm CET)

# もくじ

---

<b>1</b>	<b>ユーザーインターフェイス</b>	<b>5</b>
	メニュー .....	5
	キーコマンド .....	6

---

<b>2</b>	<b><i>Tube-Tech PE 1C "Pultec" Equalizer</i></b>	<b>7</b>
	John G. Petersen より .....	7
	はじめに .....	7
	ユーザーインターフェイス .....	8
	推奨事項 .....	10
	クレジット .....	10



# 1 ユーザーインターフェイス

Softube プラグインは、“見たそのまま”の製品です。素早く、効率的に操作できるよう直感的に数分以内に使い方を覚えることができます。メニューのような Softube のすべてのプラグインで同じような部分がありますが、それについてはこの章で説明します。プラグインの特定の詳細な情報に関しては、それぞれの章を参照してください。

## メニュー

プラグインインターフェイスの下部には、いくつかのボタンと細い黒い列があります。ここでは例として、Dyna-mite プラグインを使用しますが、他のプラグインでも同様です。

**About Box:** “About”ボックスを開き、バージョン情報を表示します。

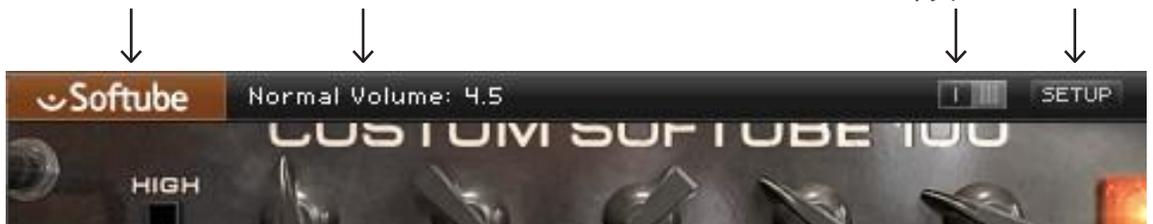
**Value Display:** マウスがコントロールしているノブの値を表示します。

“About”ボックス

バリューディスプレイ

Enable  
スイッチ

セットアップ



**Enable:** プラグインをアクティブにします。off にするとバイパスします。

**Setup:** プラグイン全体の設定を変更する場合にはグローバル・オプションを使用します。



## Enable

**Enable** スイッチがオンになっている場合 (i)、プラグインはアクティブになり、オーディオ処理がなされます。オフ (0) にするとバイパスされ、オーディオ処理されません。バイパス時の CPU 消費率はかなり少なくなります。

## セットアップ

セットアップウィンドウでは、プラグインの特定のインスタンスに影響を与える設定を行います。例えば、Bass Amp Room で “Show Value Display” オプションの選択を解除した場合、プラグインは再びそのオプションを選択するまでシステム上のすべての Bass Amp Room のバリューディスプレイはオフになります。

Windows と Mac の間では、異なるオプションに変わっている場合があります。また異なるフォーマットやプラグインでも同様です。一般的なオプションは以下の通りです。:

Show Value Display: プラグインの下の列でパラメーターと値の表示を有効にします。

Reverse Mouse Wheel Direction: (Mac OS のみ) マウスホイールの上下によってノブを動かす際の動作を変更することができます。(Mac OS のみ)

変更を有効にするには、ホストアプリ(DAW)を再起動する必要があります。

もし、何かを台無しにしてマニュアルでこのオプションを設定する必要がある場合は、下記の場所にテキスト形式でそれらを見つけることができます。:

Mac OS: ~/Library/ApplicationSupport/ Softube

Windows: username¥Application Data¥

## キーコマンド

プラグイン内のすべてのナンバーとラベルをクリックすることができます。これは簡単に希望する値を入力、設定することができます。ラベルの上にマウスを乗せると指差し型のポインターに変更されます。

### マウス

#### アップ/ダウン、またはマウスホイール

ノブやスイッチのパラメーター変更方法を選択

### キーボード

#### ファインアジャスト ⌘ (Mac)、Ctrl (Win)

パラメーターの値を微調整する場合に使用

#### パラメーターをリセット

Alt キーを押しながら、ノブやフェーダーをクリックするとデフォルト値にリセットされます。

## プラグインの特定のキー・コマンド

多くのプラグインでは、いくつかの追加機能を得るために Shift スイッチを押しながらノブやスイッチをクリックします。

### Metal Amp Room

Shift + クリックしながらマイクをドラッグすると両方のマイクを動かすことができます。

### すべての Amp Rooms

Shift を押しながらキャビネット(またはアンプ)のバックグラウンドをクリックするとアニメーション無しで変更することが可能です。

# 2 Tube-Tech PE 1C “Pultec” Equalizer

## John G. Petersen より

私は 80 年代に Pultec や Teletronics のようによく知られたチューブ・プロセッサのデザインやクオリティに魅了されました。そして、私はその伝統を継承する必要があると感じました。TUBE-TECH Program Equalizer PE 1A (現在は PE 1C) が最初に開発したユニットでした。それから TUBE-TECH 全体のレンジを設計し始めました。そして Softube の素晴らしいスキルによってデジタル領域で再び PE 1C を体験することに感動と興奮を隠せません。

敬具

*John G. Petersen*

President, Lydkraft/Tube-Tech

## はじめに

“Tube-Tech は Pultec です。”最初の Tube-Tech 製品は PE 1A が 1985 年に発売された時のおもーションからの引用です。ビンテージの US 製 Pultec EQ 1P (50 年代に設計されたものは、Tube-Tech の設計者 John Petersen がオリジナルの Pultec の魔法を再現したモダンなユニットを開発するためにインスピレーションを受けました。最終的なテストは、PE 1A を出荷する前に EQ 1P とステレオトラック上の異なるチャンネルに PE 1A をセッティングし、どのセッティングでも同じように動作するか確認しました。

数十年経った今日では、(PE 1A から最小限の変更で)PE 1C を製造中です。

そして有名な PE 1C はプラグインになりデジタルの世界に入りました。

## PE 1C について

Tube-Tech PE 1C は、ボーカルやバスドラム、ギターに至るまで、あらゆるソースに適したパッシブのチューブベース・イコライザーです。

このイコライザーは、低周波数域を同時にアッテネートとブーストすることができる 2 種類のローシェルフ・フィルターによって低域周波数のコントロールを行います。



これらのフィルターは、同じ周波数セクターでコントロールされたとしても、実際は離れた周波数をコントロールすることができます。高周波数域は、ピークとシェルビング・フィルターを並列で備え、明るすぎずスムーズなトップエンドを得ることができます。

異なるフィルターとセクションを組み合わせる能力は、PE 1C にその特徴的なサウンドを与え、伝統的な Pultec サウンドを説明することにおいて重要な役割を果たすことができます。

## ユーザーインターフェイス

以前に Pultec を使用した経験がない場合、PE 1C やその他の Pultec プロダクトのユーザーインターフェイスには少し戸惑うかもしれません。まず、1つのノブで低域の周波数を選択し、異なる2つのノブでブーストとアッテネーションを行います。

**High frequency** セクションは、2つのセクション、ブーストとアッテネーション・セクションで構成されています。高周波数をブーストしたい場合は、**High Frequency** ノブで周波数を選択し、**Bandwidth** ノブで帯域の幅、またはベルフィルターの“Q”を、**Boost** ノブでブースト量を設定してください。中・高周波数域にはベルブーストフィルターを使用することができます。

高周波数域をカットする場合、3種類の周波数を **Atten Sel** ノブで選択するだけです。高周波数域のアッテネーションする量は、**Atten Sel** ノブで設定可能です。このセクションではハイ・シェルビングタイプのフィルターを提供しています。

これらコントロールに加えてアウトプット・ゲインを備えています。この機能はオリジナル・ハードウェアにはありませんが、プラグインには有効な機能であると言えます。

## Low Frequency セクション

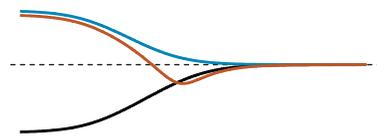
**Boost** ブーストノブは、0~14 dB、そしてパネル上に印刷されているよりも少し低いカットオフ・フリークエンシーのローシェルフフィルターをコントロールします。**Atten** 設定を組み合わせた時、このユニット固有の周波数レスポンスを提供します。

**Atten** **Atten k** ノブは、ローシェルフ・フィルターを適用した信号を 10 ~18 dB の間で減衰します。

**Low Frequency** 低周波数帯のブーストとアッテネーションを行なう周波数を設定します。設定可能な値は、20 Hz、30 Hz、60 Hz、100 Hz です。

Boost (青) と ATTEN (黒) ノブの両方を増加させることによって Pultec 特有のサウンド (赤) を作成することができます。

これは、一般的にバスドラムのイコライジングに使用される“ローエンドトリック”と呼ばれます。Tube-Tech のウェブサイト上でいくつかの使用方法についてのビデオがあります。

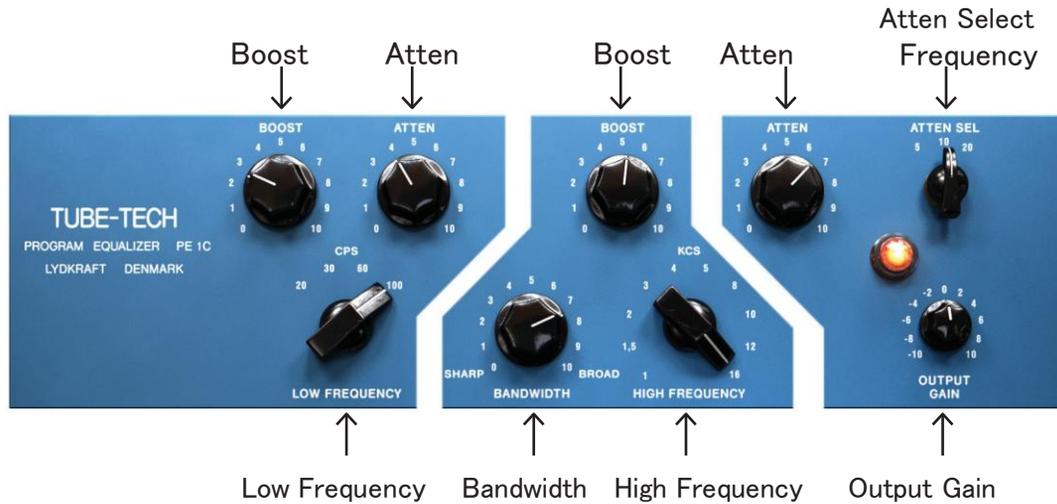


## High Frequency セクション

**Boost** ピークフィルターのゲインをシャープな帯域幅では 0~18dB、ワイドな帯域幅では 0~10dB までブーストします。

**Bandwidth** ピークフィルターの幅、また Q を設定します。

Low Frequency セクション High Frequency セクション High Frequency アッテネーション



**High Frequency** 高域ブースト・コントロールを行なうためのカットオフ・フリークエンシーを設定します。周波数の設定は、1 kHz、1.5 kHz、2 kHz、3 kHz、4 kHz、5 kHz、8 kHz、10 kHz、12 kHz、16 kHz から選択可能です。

## High Frequency アッテネーション

**Atten** Atten ノブは、ハイ・シェルビング・フィルターによって 0 ~ 18 dB まで減衰させます。

**Atten Sel** High frequency Atten コントロールのためのカットオフ・フリークエンシーを設定します。周波数の設定は、5 kHz、10 kHz、20 kHz から選択可能です。

## Output Gain セクション

**Output Gain** Output Gain ノブは、プラグインからアウトプットするボリュームをコントロールします。アウトプット・ボリュームの範囲は -10 dB ~ 10 dB までです。

## 推奨事項

最善の方法は、オリジナルのハードウェア Pultec EQ のできるだけ近いサウンドを PE 1C で得ることです。Tube-Tech.のウェブ上にも表記されているように PE 1C のサウンドは、新品の Pultec であり、誇りの被った古い Pultec のサウンドではありません。その違いは、細心の注意を払って整備を受けた Pultec は、粒の粗さやノイズなく、広くオープンな周波数レスポンスを持つことです。PE 1C は、くすんだオールドスタイルのイコライザーではありません。実際には正反対です。

彼らは偉大な機材を造りました。Tube-Tech を借りて使う度にそれを実感し、持ち続けたいと思うでしょう。

## クレジット

Arvid Rosén - モデリング、Oscar Öberg - DSP プログラミング、Torsten Gatu - フレームワーク・プログラミング、Niklas Odelholm - DSP プログラミング、Ulf Ekelöf - 3D レンダリング、オリジナル・ハードウェアは、John G. Petersen Tube-Tech/Lyd-kraft ApS, Denmark によって設計されました。

TUBE-TECH は、LYDKRAFT ApS, DENMARK の商標で、許諾を得て使用しています。すべての仕様は予告なく変更されることがあります。すべての著作権を保有しています。



